

地域の資源をふる活用

(一社)仙北市農山村体験推進協議会 の取り組みについて



ホームページ <https://semboku-gt>

E-mail info@semboku-gt.jp

Tel 0187-43-2277 Fax 0187-55-1515

◎ 仙北市の概要

- » 平成17年、旧田沢湖町・角館町・西木村の合併で誕生
- » 人口 約25,000人

- » 主な産業
- » 農業・観光関連サービス業

- » 主な観光名所
- » 武家屋敷通りとしだれ桜、
- » 田沢湖畔、玉川温泉、乳頭温泉郷、
- » 抱返り溪谷、かたくり群生の里、
- » たざわ湖スキー場 他

» 交通所要時間

秋田新幹線 (東京駅⇄田沢湖駅2時間55分)

〃 (仙台駅⇄田沢湖駅1時間15分)

〃 (盛岡⇄田沢湖駅 40分)

〃 (秋田⇄角館駅 50分)

飛行機 (羽田空港⇄秋田空港50分)

自動車 (秋田空港⇄角館 1時間)

〃 (盛岡⇄角館1時間半)



(一社)仙北市農山村体験推進協議会

(秋田県仙北市)

- 平成20年に市、観光協会、J A等が構成員となる仙北市農山村体験推進協議会を設立し、活動を一本化。
- 市役所内に農山村体験デザイン室を設置し、教育旅行を中心に受入環境整備、体験メニューの充実化。
- 平成24年以降、台湾を初めとする教育旅行の受入を行い、農家民宿等の外国人宿泊者数が年々増加している。

きっかけ Step 1 (S40～)

○わらび座が修学旅行の受入を開始、学校からの要望で周辺農家が農業体験を受入(S45年頃)
○秋田国体開催時の宿泊施設として農家が民宿を開業、国体終了後はペンションや山荘とともにスキー修学旅行などを受入(S46年頃)

Step 2 (H7～)

農家民宿の開業

- わらび座と農家民宿グループ等による教育旅行受け入れを実施していた農家の中から農家民宿が次々に開業。

※H21年以降は規制緩和による開業が増加。

Step 3 (H17～)

グリーン・ツーリズム推進組織の設立

- H20年、3つの受入団体、市、JA、観光協会などからなる仙北市農山村体験推進協議会を設立。体験を通しての農村振興を図る。

- 受入環境の整備、体験メニューの充実を実施。

県・市補助金を活用し、受入関係者向け研修会の開催、PR資料作成等を実施。

Step 3 (H23～)

市における体制の強化

- H23年、市役所に教育旅行とグリーン・ツーリズムの担当部署として農山村体験デザイン室を設置。
- 市の主導により活動の一本化が図られる。

(STEP3) 体験メニュー



(STEP4) 国際教育旅行の受入



(取組成果)



第13回オーライ！ニッポン大賞 受賞
(平成27年度)



ディスカバー農山漁村の宝(第3選定)
フレンドシップ賞 受賞(平成28年度)

(取組成果)

取組成果

農家民宿等外国人受入数

(H24: 300人→H29: 1,808人
→H30: 2,130人→R1: 2,554人)

HPアクセス数

(H29: 0件→H30: 31,503件→R1: 62,723件)

FIT予約人数

(H29: 0人→H30: 178人→R1: 575人)

Step5 (H30～)

協議会の新たなスタート

- H30年、国家戦略特区を活用して、旅行業務取扱管理者試験の緩和を実施。地域限定の旅行業を取得。旅行者としてワンストップサービスの提供を図り、地域のコーディネーター的な位置づけを目指す。
- 民間企業との連携事業を実施し、積極的な個人旅行者の誘致を行う。
- ホームページ(日・英)の開設。宿泊や体験の予約受付を開始。FacebookやInstagramでの情報発信。
- 一般社団法人となる。

Step 4 (H24～)

国際教育旅行の受入

- H24年、仙北市と交流のあった台湾を中心に教育旅行の受入を開始。
- H26年、青年研修団の受け入れの依頼があり、東南アジア地域からの教育旅行が増加。

団体旅行から
富裕層旅行へ

グリーンツーリズムの宿の市内軒数の推移									
年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
農家民宿数 (軒)	29	29	30	32	33	32	32	33	35
グリーンツーリズムの宿の宿泊者数推移									
年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
宿泊者数合計 (人)	10,202	10,057	10,186	9,405	11,900	11,104	12,041	13,222	6,312
うち外国人 (人)	306	300	529	801	1,061	1,808	2,130	2,550	408

(仙北市交流デザイン課より)

活動の様子



グリーンツーリズムの活動の効果

- 農山村に教育旅行や農山村体験で観光客が訪れることで地域の活気に繋がっている
- 観光客からは農山村の魅力の発見に繋がったと評価されている
- 外国人の受け入れに伴い地域の国際化、国際理解の進展に繋がっている
- 市内全域の農家民宿で外国人を受け入れていることで、同様の経験をした仲間が増え、旧町村の垣根を超えたネットワークができた
- 実際に受け入れ、あるいは受け入れに関わった人自身の自信に繋がっている

アフターコロナ、今後に向けて

- 市内の様々なアクティビティとの連携
- 客単価を上げる取組(体験メニューの見直し、お土産づくり)
- 他の地域との差別化 → 特徴を磨き上げ
- 第2の軸足(副業)から、第1の軸足(本業)へ考え方の変化を
→ 生きがい作りから、仕事としてのやりがい作り
- 協議会のコーディネート機能を強化



(一社)仙北市農山村体験推進協議会

- ホームページ <https://semboku-gt>
- E-mail info@semboku-gt.jp
- Tel 0187-43-2277 Fax 0187-55-1515